



Starlink 導入状況についての報告

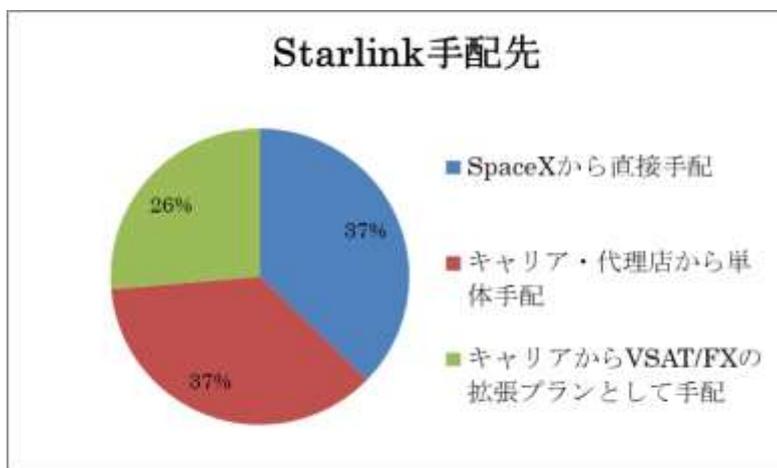
2024/05 の時点で、弊社が Starlink を接続した船舶は 100 隻を超えました。

ここに 100 隻時点の統計をまとめてみましたのでご参照ください。

統計の母集団：

弊社の ORION Plus を搭載している船舶で、Starlink を船内ネットワークに接続した船舶 100 隻が母集団です。

1. Starlink の手配先



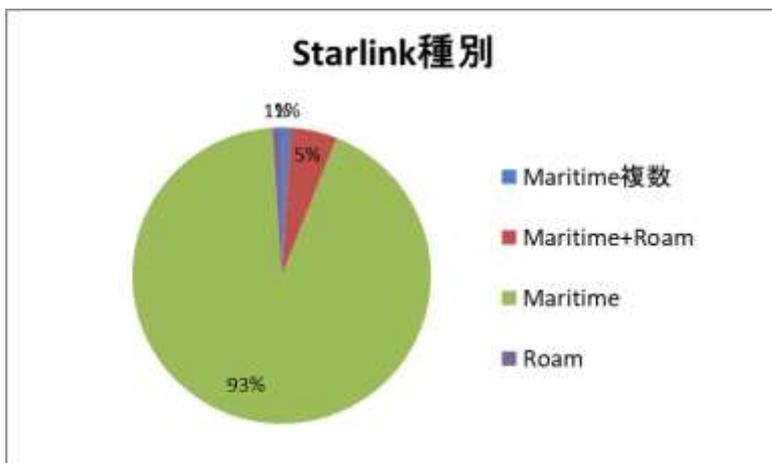
37%が SpaceX 社からの直接手配です。
 また、代理店やキャリアから Starlink を単体手配した船舶も 37%を数えました。
 よって 74%が Starlink を ORION Plus(または OL3)に接続して利用しています。
 それぞれのメリットデメリットを以下に簡単にまとめます。

	メリット	デメリット
SpaceX からの直接手配	もともと安価	カード支払い
代理店・キャリアからの単体手配	請求書払いが可能	直接手配よりも割高
VSAT/FX の拡張プランとして手配	キャリアが総合的にサポート	直接手配より割高

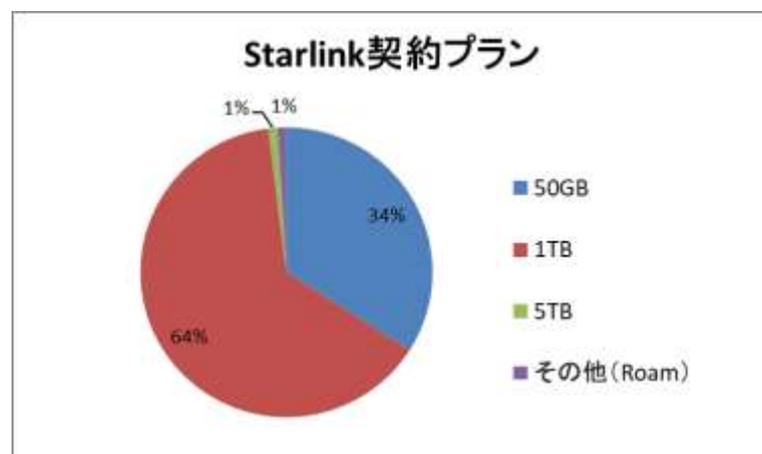
2. Starlink 種別

ほとんどの船舶が Starlink Maritime を契約していますが、Starlink Maritime + Starlink Roam の組み合わせ搭載や、Starlink Maritime 複数搭載のケースも見受けられます。

このような複数搭載の船舶は今後増加していくと考えられます。



3. Starlink 契約プラン



34%の船舶が 50GB プラン、64%の船舶が 1TB プランです。

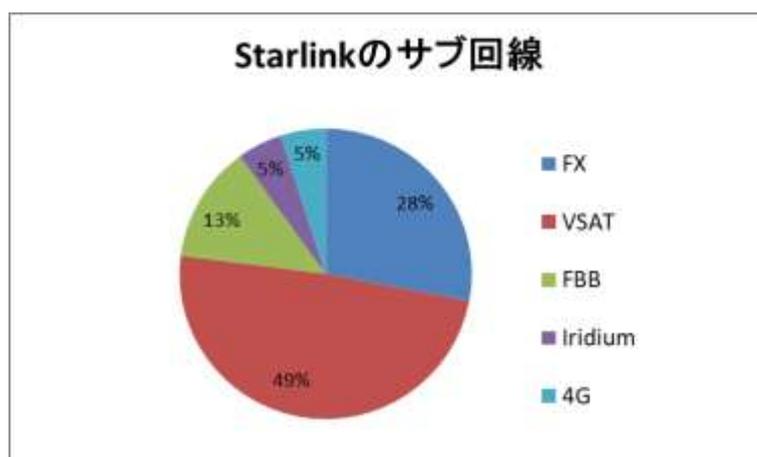
VSAT 代替として通信費を低く抑えたい船社では 50GB を用いる傾向が強く、Starlink によって DX の発展を考えている船社では 1TB を選択している傾向が見受けられます。

4. Starlink のサブ回線

77%の船舶が VSAT または FX を Starlink のサブ回線として使っています。

これは中国など Starlink が使えない海域での運航を懸念していると考えられます。

一方で、バックアップ通信はメールさえ通ればよいと考えるケースでは FBB または Certus を利用して VSAT は搭載しないケースも一定数あるようです。



5. まとめ

弊社の ORiON Plus で船内ネットワークを構築している船舶では、接続する通信インフラの自由度が高く、Starlink や既存衛星通信、4G/5G を自在に組み合わせることができます。

また、同種類の回線を複数接続 (Starlink 複数搭載など) してより高度な通信制御が可能です。

各船社のご希望に合わせて最適な組み合わせをご提案いたしますので、お気軽にご相談ください。

2024/05/15 文責:ORCA 張